

石川町

# 議会だより

No. 203

令和2年 2月1日

発行 / 石川町議会  
編集 / 石川町議会  
広報常任委員会

- P2 12月定例会 審議結果
- P4 紙上中継（常任委員会）
- P5 12月定例会 一般質問（町政をただす）
- P13 あれからどうなった？（一般質問のその後は）
- P14 被災者の声～台風19号被害から2カ月後は

2019 12月 定例会

頼りになる消防団、今年も宜しくお願いします

# 災害復興予算など 9億9000万円を承認、可決

## 12月 定例会



▲分別の量が大変です

令和元年12月定例会は、12月5日から13日までの9日間の会期で開かれ、条例案件8件、補正予算5件、専決処分5件、契約の締結2件、請願2件、陳情1件、議員発議4件の合計27件を審議しました。  
一般質問には、8人の議員が登壇し、町政を問いました。また、101人の傍聴がありました。

### 専決処分の承認について

台風第19号災害に伴うライフラインの復旧や避難者の支援、被災住宅への応急修理費や災害ごみの早期処理、災害見舞金や公共施設の復旧など、早急な初動対応を図るための専決処分を承認しました。

### 一般会計補正予算 第4号の主なもの

10月12日付けで2億2707万円を増額する専決処分を行いました。歳出の主なものは、避難所などの災害救助関連経費に439万円、

災害ごみ処理経費に7991万円、農業施設や町道の応急復旧経費に1億1000万円となっております。

### 一般会計補正予算 第5号の主なもの

10月30日付けで5億9161万円を増額する専決処分を行いました。歳出の主なものは、住宅応急修理費に3億2750万円、災害ごみ処理経費に2億2165万円となっております。

### 一般会計補正予算 第6号の主なもの

11月13日付けで1億9431万円を増額する専決処分を行いました。歳出の主なものは、災害見舞金に2650万円、災害ごみ処理経費に3928万円、中小企業支援に1200万円、農業施設の復旧に3599万円、町道

復旧に3059万円となっております。

### 一般会計補正予算 第7号の主なもの

今定例会での補正は、町が整備を目指している道の駅の基本計画を策定するための委託費のほか、職員の定期異動等に伴う人件費、事業費の確定に伴う不用品等について、財政調整基金繰入金を主な財源に補正を行うものであり、既定予算と合わせて、歳入歳出予算の総額を86億8519万8000円とするものであります。歳出の主なものは、道の駅整備基本計画策定委託料に991万円、小学校の指導教材購入費1723万円、機構改革関連経費に750万円となっております。

# 議案・請願・陳情・発議 審議結果

議案番号	議案・請願・発議	審議結果	
議案 第66号	専決処分の承認を求めることについて（石川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例）	原案承認	全 員
議案 第67号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年台風第19号災害による被災者に対する町民税等の減免に関する条例の制定）	原案承認	全 員
議案 第68号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度（平成31年度）石川町一般会計補正予算－第4号）	原案承認	全 員
議案 第69号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度（平成31年度）石川町一般会計補正予算－第5号）	原案承認	全 員
議案 第70号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度（平成31年度）石川町一般会計補正予算－第6号）	原案承認	全 員
議案 第71号	石川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決	全 員
議案 第72号	石川町森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決	全 員
議案 第73号	石川町課設置条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第74号	行政機構の改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	全 員
議案 第75号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第76号	石川町旅費条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第77号	石川町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第78号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第79号	令和元年度（平成31年度）石川町一般会計補正予算（第7号）	原案可決	全 員
議案 第80号	令和元年度（平成31年度）石川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全 員
議案 第81号	令和元年度（平成31年度）石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全 員
議案 第82号	令和元年度（平成31年度）石川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全 員
議案 第83号	令和元年度（平成31年度）石川町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	全 員
請願 第8号	被災者生活再建支援法の改正を求める請願	採 択	全 員
請願 第9号	地域医療を守り公立病院等の維持・存続を求める請願	採 択	全 員
陳情 第1号	看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める陳情	採 択	全 員
議案 第84号	旧中谷第二小学校校利活用改修工事請負契約の締結について	原案可決	全 員
議案 第85号	石川町防災情報配信システム整備工事請負契約の締結について	原案可決	全 員
発議 第9号	厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書	原案可決	全 員
発議 第10号	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書	原案可決	全 員
発議 第11号	地域医療を守り公立病院等の維持・存続を求める意見書	原案可決	全 員
発議 第12号	看護師と介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書	原案可決	全 員

## 長い間、お疲れさまでした

11月25日、石川町役場において、町議会議員の任期満了に伴い、退職された4名の方へ町から記念品が贈呈されました。



山田英重氏、関根武一氏、永沼一夫氏、中村孝太郎氏

懸命な取り組みを進め、一方では石川小学校新校舎の新築落成や長年の懸案事項であった役場新庁舎の完成を迎えることができました。

また、任期最後の4年間は、東日本大震災に伴う風評被害は払拭されず執行部とともに

長い間、お疲れさまでした。から感謝いたします。





## 総務産業建設常任委員会

### 道の駅整備事業の進め方について

**Q** 道の駅整備計画の熟度が不安だ、基本計画策定の委託は早過ぎる。町

**A** 民の負の遺産とならないよう、慎重な対応を。今後は、道の駅整備



▶開業1年で200万人の入場者を記録

検討委員会で進めている検討事項に関する意見等の精査を行い、道の駅整備に向けた基本的な考え方をまとめさせていただきます。道の駅を整備した後、施設運営に支障をきたすこととならないよう慎重に進めていきます。今後の経過につきましては、検討委員会である程度まとまった時点で報告したいと考えております。

## 文教厚生常任委員会

### 文教福祉複合施設(モトガッコ)の反響音対策工事について

**Q** どういう目的で行うものなのか。

**A** 施設内各ルームの反響音が大きく、会議や打合せ等に支障があることから、その改善を図るものです。

**A** 大掛かりな工事は想定しておりません。できるだけ利用者には不便をかけるような工事日程を考えております。

**Q** どういった工事を行うのか。

**A** 吸音材等を使用し、反響音を防ぎたいと考えています。また、目に見えるものではないため、効果を確認しながらの作業となります。

**Q** 工事期間中は、使用できなくなる



▲改修する2階の各ルーム

# Q 安心して生活できる災害のないまちづくり

## A 今後の防災体制の整備を図っていく



下山田和雄 議員

**質問** 現在、

千五沢ダムは洪水調整機能を持っていないが、改修工事で機能化されるのかを伺う。

**答弁** ダムの改修後は治水機能も付加されます。

**質問** 今回の災害の検証分析後は、どのような対策を進めるのかを伺う。

**答弁** 今出川、北須川の堤防嵩上げも含め、県に働きかけながら整備に取り組みます。



▲早期改修と完成を望みます

**質問** 定期的な避難訓練等の実施を伺う。

**答弁** ハザードマップの見直しも含め、各地区の方々と相談しながら検討していきます。

**質問** 災害ゴミの処理方法について伺う。

**答弁** 現在、石川地方生活環境施設組合が工事中のため、県内、県外を含めて焼却の段取りを進めています。「最終的には、少なくとも仮置き場から袋に入れてしまう段階までを2

年間で全て終わらせていきたいと考えております。」その後、施設組合の改修工事が2年後に終了しますので、そちらで焼却し廃棄したいと考えています。

**質問** クリスタルパーク第一駐車場のゴミ処理を早くできないかを伺う。

**答弁** 生活ゴミと災害ゴミが混同して捨てられているため分別作業が困難な状況にあります。また、その作業は環境省処理基準により進めるため時間がかかります。

### Q 事業再開に向けた取り組みは被災者の身になって進めます

**質問** 被災された方々に対する支援を伺う。  
**答弁** 被災者への生活

再建を支援するため県の各種制度を基本に支援策を行っています。

**質問** 工商业者、農家への事業再開に向けた支援体制を伺う。

**答弁** 説明会を通じてグループ補助金等の制度、申請の仕方などを理解していただき、商工会と町が連携しながら支援していきます。

**質問** 社川、北須川に流れ込む各支流、堀田川、渡里沢川、金田川などの合流地点の改修を伺う。

**答弁** 県と協議の上で検討していきます。

**質問** 河川に張り出した桜の枝の処理について伺う。

**答弁** 点検を図って、美しさを損ねないように対応します。

# Q 塩田町政2年目以降の町政運営について

## A 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりを



関根 信次 議員

**質問** 町長は何に重点を置いて町政運営をしていくのか。

**答弁** 令和2年度は災害に強いまちづくりを目指すとともに、人口減少対策として、若者世代の住宅施策の充実や幼児教育・保育に係る負担軽減などの子育て支援策をはじめ、雇用創出に向けた企業の育成支援、道の駅整備を含めた産業振興や町なかのにぎわい創出、地域医療体制の整備、教育・福祉の充実など各種施策を積極的に推進していきます。

### ◆産業の振興について

**質問** 稲作農家の経営安定に向けた取り組みと進め方について伺う。

**答弁** 本町におきましては主食用米から飼料用米など需要のある戦略的作物の生産を推進し、価格差を解消するため町独自の補助金制度を設け需要に応じた生産調整を行っています。また、担い手農家の経営安定を図るため収入減少緩和交付金への加入促進と、多収品種の生産を推進し、持続的な農業経営を図れるよう取り組んでいます。

**質問** 企業誘致の促進について伺う。

**答弁** 若者が定住し、経済的自立と安定を図るためには就労の場を創出

する企業誘致が重要であると考えています。本年度は副町長を筆頭に立地企業の本社訪問を行い、創業継続と雇用維持の御礼や支援優遇策の紹介など信頼関係を築く取り組みを行っています。

**質問** 地元中小企業の後継者の育成について

**伺う。**  
**答弁** 現在町商工会に窓口を開設して創業と後継者の各種相談業務を行っており、平成30年度には8名の相談を受けています。また、デザインや商品化の基礎知識、財務会計や企業計画を学ぶ創業スクールを開校し、平成30年度は15名が受講しています。町としましては、各業種業態が連携を深めながら相互の付加価値を高め、次世代への事業経営と後継者育成につながるものと考えています。

**質問** 地域防災計画と災害対応について。

**答弁** 今回の記録や経緯、分析結果を活かし、適切な避難行動を促す情報伝達や水害リスクを図る見直しを行い、今後の災害対策、防災に活かしていきたいと考えています。



▲藤沢工業団地に建設中の誘致企業

# Q 町民とつくる石川まちづくり防災計画の提案

## A 地区防災計画策定を進めていきます



根本 重泰 議員

防災意識を自分事として考えるまちづくりを！

**質問** これまでの石川町の取り組みは。  
**答弁** 27年3月に「自主防災地域防災計画」を公表しています。現

東日本大震災の教訓を生かし、25年に災害対策基本法が改正され、みんなでつくる地区防災計画制度（「自助」「共助」）による地域の防災―地域住民が主体的に防災計画を作成する活動を応援する―がスタートしました。

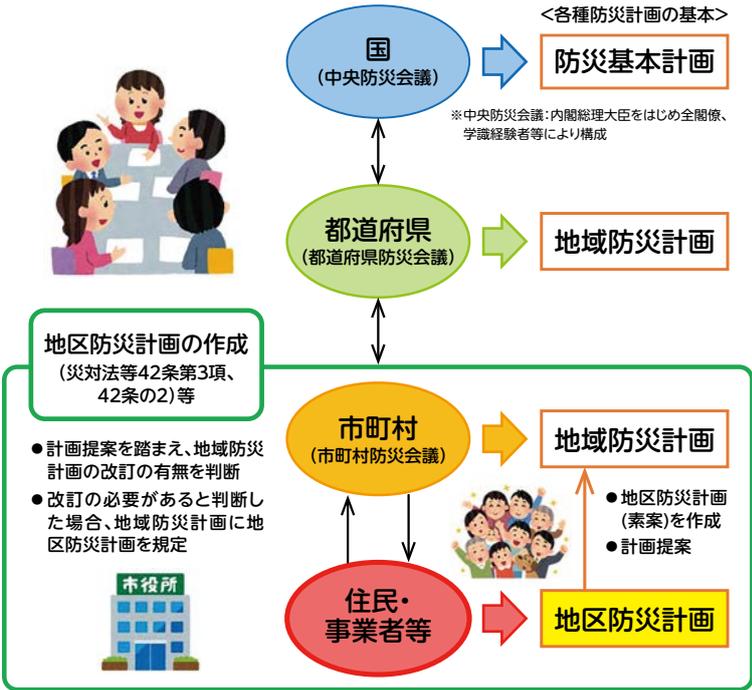
**質問** 事業制度と実績について。  
**答弁** 災害復旧の国補助事業で、受益戸数が2戸以上、一箇所の工事金額が40万以上、基

農地・園芸施設災害復旧事業について

**意見** 防災にはハード（堤防など）とソフト（防災意識、訓練など）の両面が必要だと考えます。  
**答弁** 自治協議会、行政区、自主防災組織などで地域の自主性を尊重しつつ地区防災計画策定を進めていきます。

在石川町では自主防災組織が5団体（荒町・馬場町・字新屋敷・大字新屋敷・大字中野）でヘルメット、長靴などの支援をしています。  
**質問** 今後の取り組みは。  
**答弁** 自治協議会、行政区、自主防災組織などで地域の自主性を尊重しつつ地区防災計画策定を進めていきます。

**質問** 今後の活用について。  
本補助率は農地50%、農業用施設65%となっていますが、当事業には受益者負担が伴います。これまでの制度適用は、この約10年間にため池・堰・農道3件の計5件です。



内閣府防災情報のページより

**答弁** 今回の台風19号の被害は激甚災害指定でもあり補助事業、町単独事業の振り分けを行い、一日も早い復旧復興に取り組んでいきたい。また、来年度の機構改革で農政部門に力を入れていきます。

# Q こども医療費の窓口支払いを無くせないか

## A 町内同様、支払いが無いように進めます



乾 初美 議員

早く進めて  
欲しかった！

**質問** 今後、こども医療費助成事業の支払業務を委託することについて、町の考えを伺います。

**答弁** 来年度中にも委託ができるよう進めてまいりたいと考えております。

※審査支払業務を「社会保険診療報酬支払基金」に委託することで、地域を制限されることなく、患者側は、医療機関での窓口支払いはなくなりません。

### ◆災害対策について

**質問** 今後ハザードマップを見直す上での本町の考えを伺います。

**答弁** 今回の浸水被害地区を図示するなど、町民にとつてより分かりやすくなるよう進めてまいります。

**要望** 災害別にハザードマップを作成し、避難経路や避難場所も見直していただきたい。様々な自治体のハザードマップから学び、利用者目線に立った改善をしてほしい。

ホームページなど、いつでもどこでも見られるような公表の仕方を検討してほしい。

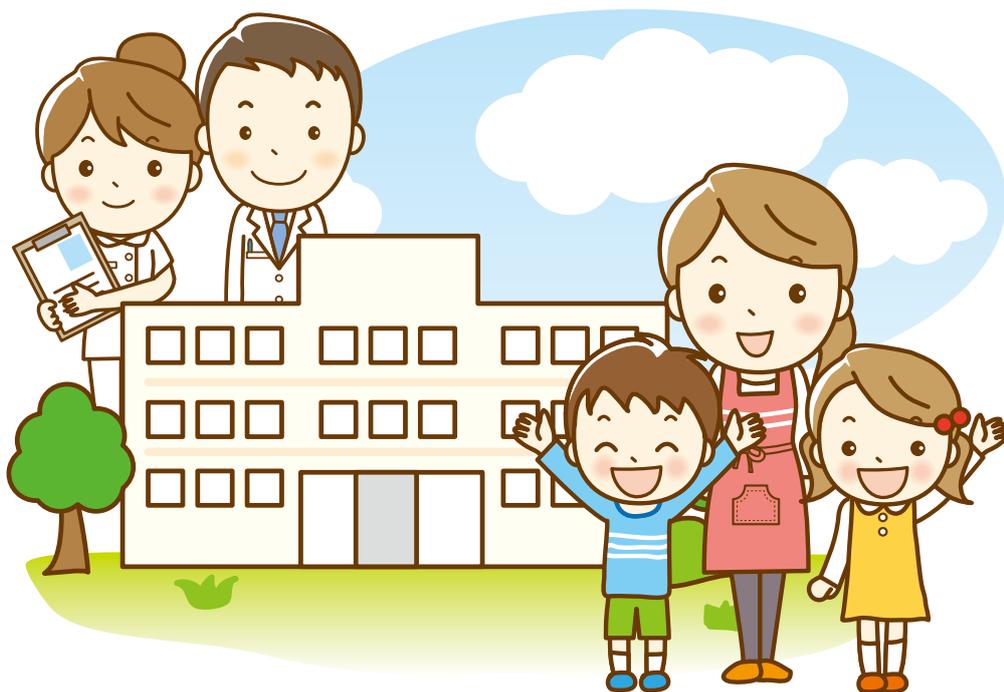
**質問** 災害を想定した避難訓練などの実施について本町の考えを伺います。

**答弁** 各地区において実施できるよう努めて

まいります。

**要望** 水害を想定した避難訓練はもちろん、子どもたち及び保護者

の防災に対する意識の向上を図ることを目的とした、防災教室の開催も検討していただきたいです。



# Q 千五沢ダムについて町民説明会の開催を

## A 正しい理解を得るために開催を検討する



瀬谷 寿一 議員

### ◆集中豪雨対策について

**質問** 災害ゴミの早期処分は。

**答弁** 仮置き場の高田地内と鳥内地内は年度内に、残る2箇所は次年度以降1日も早い処理を目指します。

**質問** 逃げやすい避難経路の確保は。

**答弁** 2次被害防止のために浸水区域を通らない避難経路の確保が重要であります。

**質問** 北町から源平山を経由して双里に避難できる道路が必要では。

**答弁** 地域の皆さんと相談して対応します。

**質問** 洪水河川の点検と補強は。

**答弁** 復旧に向けて国庫補助災害復旧工事箇所の災害査定の準備をしています。

**質問** 渡里沢川などの支流の整備に遊水池が有効ではないか。

**答弁** 専門家の意見を聞いてどんな対応がベストなのか検討します。

**質問** 常時観測システムの導入は。

**答弁** 被災した水位観測計の復旧、増設、ライブカメラの設置を国県に要望しています。

**質問** 急傾斜地の住宅



▲急傾斜対策を待つ下矢造地区、豪雨で6世帯避難

**被**害への町の対策は。  
**答** 他自治体の事例を踏まえ引き続き検討します。

**質** 山林崩壊危険地区の把握と防止対策は。  
**答** 県では、災害が

人家一戸以上、更に、公共施設に直接及ぶ恐れのある地区を山地災害危険地区として指定しています。本町では、山腹崩壊危険地区が41箇所、崩壊土砂流出危

険地区が9箇所指定されています。

**質** 危険地区、警戒地区に指定された山林や上流の山林の整備対策は。  
**答** 森林の重要性を鑑みて山林崩壊危険地区等を再調査し、そのような方向で対応します。

### ◆鉱物館の着実な推進を

**質** 鉱物館整備の今後のスケジュールは。  
**答** 今年度基本構想、令和二年度基本設計、

令和二年度基本設計、三年度実施設計、その後事業着手となります。

**質** 基本構想では、建設場所などの検討は行われるのか。  
**答** 既存の建物の再利用等も含めて検討委員会でも検討し前向きに進めていきます。

# Q 病院建設検討委員会の進捗状況は

## A 2月を目途に報告書が提出される見込みです



瀬谷 京子 議員

今回の台風で被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

**質問** 河川改修、堤防の嵩上げや浚渫が急務と思うが。

**答弁** 現在飛鳥川で改良工事中ですが、今後県や関係機関に要望していきます。

**質問** 以前から渡里沢川の改修の必要性が言われてるが考えは。

**答弁** あのまま放置できず、何らかの動きを示す時期であると思います。

**質問** 防災行政無線の

個別受信機全戸配布をできないか。  
**答弁** 令和3年3月までにデジタル放送用防災ラジオを全世界に貸与する予定です。

**質問** 緊急情報発信にスマートフォンエリアメール活用が効果的と思うが。

**答弁** 現在数社と協定を結び契約できれば可能です。

**質問** 地域住民による自主防災組織が重要な役割を果たすと思うが。

**答弁** 現在町内5地区に組織があり、防災知識の普及活動に取り組んでいます。さらなる組織化と支援の検討をしていきます。

**質問** 歩道の破損が著しいが、ベビーカーやシルバーカー利用者も増えている、改修を。



▲被災状況の調査

**答弁** 県では高齢者や障がい者などの人に、「やさしい道づくり推進事業」で歩道改修を図る計画です。土木事務所と再度協議します。

**質問** 寄せられた義援金、寄付金の使途は。

**答弁** 義援金は被災者へ、寄付金は町の一般会計へ入れ災害復旧に支出します。

**要望** 地域毎の避難訓練の実施と実行計画の作成、千五沢ダムの正しい理解のための情報

発信を願う。

### Q 病院建設検討委員会の議論は

**答弁** 救急対応や高齢者が入院できる病院など町民が求める病院像や誘致上の課題等、様々な意見が出ました。さらに、有識者の講話を聞き、公立の地方総合病院視察も行い、2月を目途に報告書を提出する見込みです。

報告を踏まえ、町として年度内に誘致について方向性、具体的な考え方を示したいと思っています。

**質問** 町長のやる気は。

**答弁** 病院はやる気をつた公約上は、つくって欲しいとお願いをしたひらた中央病院へ、検討委員会の審議内容を踏まえた話をして、私としての最終判断をしたいと思えます。

# Q 小・中学校に通級指導教室の設置の考えは

## A 来年度、県に設置を要望します



渡辺 実 議員

**質問** 通級指導教室の県内での設置状況は。

**答弁** 通級指導教室は、通常の学級に在籍しながら、比較的軽度な障がいのある児童生徒に対して、一部の授業を障がいの状態に応じて「特別の指導」を行うための教室です。

県内の設置数は103教室です。

町内にも特別支援を要する児童生徒もおり、通級指導教室が必要と考えています。

**質問** 再来年度、開設の考えは。

**答弁** 県に、強く要望していきます。



▲通級指導教室の設置が待たれる学校

**Q** 災害に強いまちづくりの考えは

**A** 今回の災害を教訓に、今後の防災に生かします

**質問** 台風第19号による水害の原因と対策は。

**答弁** 千五沢ダムの流入超過で、毎秒200トンを超える水が堰堤を超えて流れ出したこと、や本流と支流の合流地点で、支流への逆流、

橋の欄干に流木や稲わらが集積したことが原因と考えられます。

**質問** 福祉避難所の設置状況は。

**答弁** 今回は、老人ホーム長生園に設置をしました。

**質問** ハザードマップの音声化の検討は。

**答弁** 検討します。

**質問** 市街地トイレの合併浄化槽への推進は。

**答弁** 改善するように対応します。

**質問** 職員の健康管理は。

**答弁** 心配されるので、十分対応します。

**Q** 臨時・嘱託職員の会計年度任用職員への移行は

**A** 来年4月から移行します

**質問** 現在の配置状況を伺う。

**答弁** 合計89名です。

**質問** 移行で、「不利益が生じないように」の国会附帯決議遵守の考えは。

**答弁** 尊重し、移行します。

**質問** 職員組合との交渉の考えを伺う。

**答弁** 職員組合との交渉の考えがあれば、適切に対応します。

**質問** 常勤職員との均衡を図る考えを伺う。

**答弁** 1級2級の給料表を準用、勤務時間、休暇等も概ね準用で進めています。

**質問** 2年、3年の期間任用職員は。

**答弁** 1年任用となるが、再度任用も可能となります。

# Q 災害時における弱者の避難先は

## A 福祉避難所として老人ホーム長生園を開設しました



藤島 一浩 議員

**質問** 災害時に障がい者や傷病者の避難先は告知されているのかを伺う。

**答弁** 老人ホーム長生園などが福祉避難所です。ハザードマップなどに記載はあるものの告知不足であるため、周知を徹底していきたいと思います。

**質問** 酸素ポンペを必要とする方の避難場所はあるのかを伺う。  
**答弁** 予備の酸素ポンペはありませんが、保健センターには15キロワットの蓄電池がありますので、電源を使うことは可能です。

**質問** 障がい者のみならず、健常者への避難告知方法を伺う。

**答弁** 防災ラジオをアナログからデジタル放送に変更し、難聴地域の解消につなげます。完了時期は、令和3年3月の予定です。

**質問** 水位や雨量などをライブ中継映像で見られないかを伺う。

**答弁** 阿武隈川1基、杜川2基、北須川2基、今出川1基の水位計が設置されておりますが、ライブカメラに関しては、県に要望し設置に取り組んでいきます。

**質問** 住民による避難訓練を狭い範囲で行ってはどうかを伺う。

**答弁** 平成29年に、地震と大雨を想定した総合防災訓練を実施しました。本年5月には阿武隈川水防訓練に参加し、水防技術を習得し

ました。今後はより実践的な訓練を検討していきます。

### Q ふるさと納税について

**質問** これまでの、ふるさと納税額の推移は

**答弁** 発足当初は100万円ほどであったが、平成23年度には200万円、平成27年度からはインターネット募集と石川の土地の恵みに限定した地場産品を返礼品とし、年額1000万円を超える寄付額となりました。

**質問** 1万円以上の返礼品しかないため、5000円の品を検討できないかを伺う。

**答弁** 今後、調査研究をしながら検討します。

**質問** 返礼品開発の

ため町民、商工業者からなる検討委員会を組織できないかを伺う。  
**答弁** 新たな返礼品については、ふるさと石川の象徴となるものが認知され、公共性、公平性などの適正性を検討してまいります。



▲石川町の募集ページ



▲側溝堆積砂の除去後

あれからどうなった？

## 一般質問のその後は

平成30年12月  
定例会より

### 石川小学校グラウンドについて その後の状況は

●降雨後のグラウンド状況の改善を図りたいという答弁だったが、その後の対策は。

●石川小学校グラウンドには、雨水を貯留する機能を持たせていることから、降雨量によっては、一面が冠水する場合があります。

このため、暗渠を設置するなど、これまでも降雨後の状況改善を図って

きましたが、さらなる対策として、側溝に堆積した砂の除去を行いました。これにより、降雨後にグラウンドを使用できま  
までの期間が短縮できま  
したので、今後も引き続  
き対策を進め、児童の学  
習環境の改善に努めてま  
いります。

### 特定不妊治療費の一部を助成

町では、特定不妊治療を行う夫婦の経済的負担を軽減するため、対象となる特定不妊治療費の一部を助成します。「保険診療の適用とならない体外受精・顕微授精」や「特定不妊治療の一環として男性不妊と判断された場合の手術を伴う治療」が対象となる治療です。

た医療機関、及び県外では各自治体から指定を受けている医療機関が指定医療機関となり、また、内容や回数には、助成を受けるための要件があります。

福島県が指定し





## 再開に向けて 自動車教習所の

令和元年10月に発生した台風19号の影響により、敷地内全部が浸水をしました。道路や施設の流失、26台の自動車廃棄など甚大な被害を受け、新年を迎えた今でも全面復旧には至っておりません。被災した企業の中には再開を見通せない企業も多くあると思います。また、再び災害が起こる事への不安ばかりですが、万全な治水対策を求めます。当教習所では、1月20日にコースが完成し、29日から全面再開をする予定となっています。

石川自動車教習所 矢内さん



社川の氾濫により住宅は床上120cm、農業関係は、出荷作業所、梱包機械、農業用ハウスなどが水没した。今年からのイチゴ栽培の準備をしていた最中だったのでショックだった。イチゴ栽培を断念しようかと思ったこともあったが、自分の夢を実現するために奮い立った。これからあとに続く若い人のためにも是非成功させたい。主力品種は、「とちおとめ」で新種も取り組みたい。2月には初めて収穫できる予定だ。町には、若い農業経営者に対して積極的な支援をお願いしたい。

(有)御光福園芸 吉田 隆さん (鳥内)



「避難を呼びかける区長は、どの段階で避難したら良いのか分からない」という声がありました。広報無線では告知されていたのですが、聞こえない、聞き取れないとの声があり、発災直後、防災ラジオの音があちらこちらで聞こえました。少なくとも、区長には指示メールなどがあると良いと思います。

町内の行政区長さん



本町でも多くの方々に災害ボランティアとして、復旧活動に尽力していただきありがとうございました。その中で、より安全に、安心して活動していただきたいと思いました。ボランティア保険に加入することで、ボランティア自身のけがや病気、その他損害に対して補償してもらえます。活動前の会議や勉強会、被災地までの移動における事故も補償対象となるので、加入していただきたいです。(申し込みは社会福祉協議会へ。災害時には特例でウェブによる加入も可。保険料は350円～。保険期間は一年間。)

町内の被災者

# 台風19号の 被害から2カ月 被災者の声



みんな流されてしまった

あの日の夕方に消防団の方が「避難して下さい。」と家にきたが、出来なかった。

過去に2回ほど被害を受け、その後、阿武隈川の改修工事があり大丈夫だと思っていました。ところが、今回は違いました。暗くなってから玄関の戸がいきなり外れ、水嵩が床上まで増し、眠れない一夜を過ごすとともに、朝になった時にはただ事ならない様子にどうしてよいやら分からなくなりました。姉を頼って大工さんを頼みましたが、「いつまでキャンプをすればいいんだ」と、心配する声も聞こえました。2カ月もあっという間に過ぎましたが、あの時捨てなくても良い品物もあったのではと悔やまれる反面、ただ無事に家に住めれば良いとも思っています。

吉田もと子さん（鳥内）



避難所から帰ってみると床上130cm以上の浸水、一階は全滅でした。風呂が使えず入浴券はありがたかったです。自宅の改修は、業者さんに補助制度手続きをしてもらいました。12月10日過ぎに、ようやく通常の生活に戻りましたが、出費は大変です。

ここで安心して生活をするには、第二保育所前の堤防かさ上げと用水路の逆流防止対策をしていただきたいと要望します。

鈴木善信さんご夫妻（松ノ木下）

# 未来に向かつて

・ 高校生の声

県立石川高校 3年 関根 花梨

## 夢を実現するために



関根花梨さん

私は高校入学時からお客様とふれ合う事ができる旅館業に興味を持ち、二年次での選択授業でキャリアチャレンジコースを選択しました。私は、二、三年次ともに旅館業を選択し、二年次の後期と三年次には一年を通して八幡屋様で実習をしました。

主に、フロントやバンケットの仕事を経験して多く

させていただきました。フロントでは、お客様とのコミュニケーションを大切にし、笑顔で忘れず、また来たいと思っていただけのような接客を心掛けました。バンケットでは実習を重ねるうちに、様々な種類のお膳を早く正確に並べる事ができるようになりました。



▲キャリアチャレンジで内定しました！

の知識を得ることができたり、「働く」ことの大変さや、やりがいを知ることができたりと進路決定においてとても良い経験となりました。また、自分の夢を叶えるチャンスとなり、目標から進むべき道へと変える事ができたと思います。就職後も大変な事は多いと思いますが、この仕事を選んで良かったと思えるよう一歩ずつ歩んでいきたいです。

### 編集後記

昨年は激動の年でありました。議会議員選挙があり、その後、大規模水害に見舞われ、新人議員としましては右往左往の一年となりました。また、被災ゴミの処理には数年はかかるとのこと。住みやすい安全な町になるの

には、もう少し時間がかかるようであります。石川小学校の児童は、「子供自転車安全大会」で毎年全国入賞をしております。多くの方々が安全運転に努めるもの、自動車が多い今日においては、災害復旧に合わせた安全な道づくりも必要であると考えます。

藤島一浩

議会を  
傍聴しませんか  
3月定例会「一般質問」  
は3月2日(月)  
の予定です。

#### 議会広報 常任委員会

委員長	委員	委員	委員	副委員長	委員
瀬谷 寿一	藤島 一浩	乾 初美	菊池美知男	根本 重泰	小木 芳郎